

Fight !



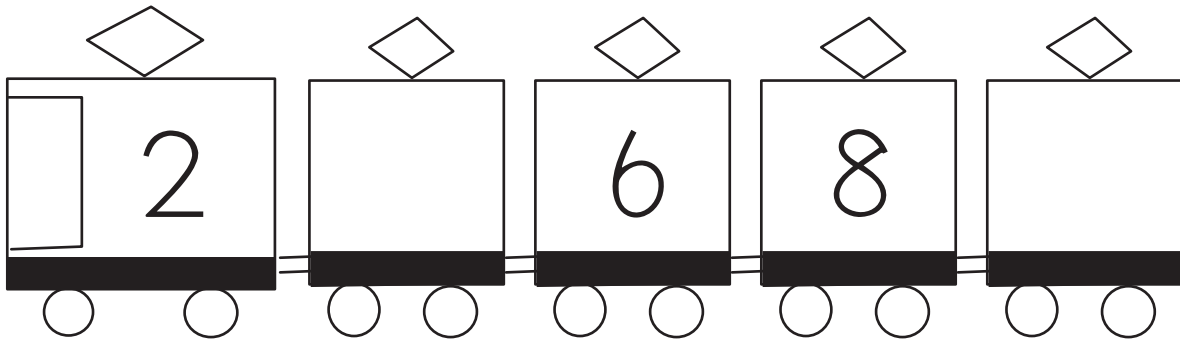
# ロコモ 3-1

なまえ

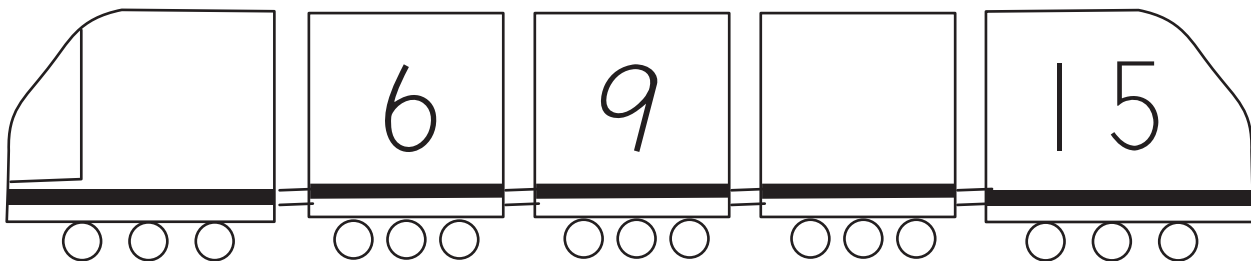
---

あいているところに すうじをかきましょう。

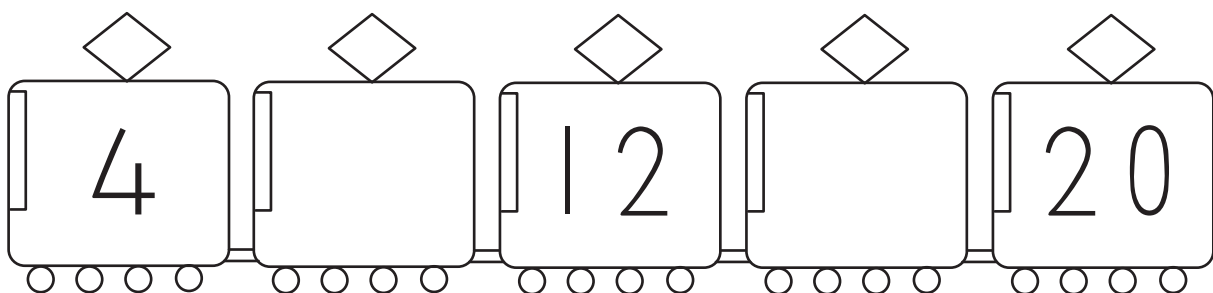
## 【2とび】



## 【3とび】



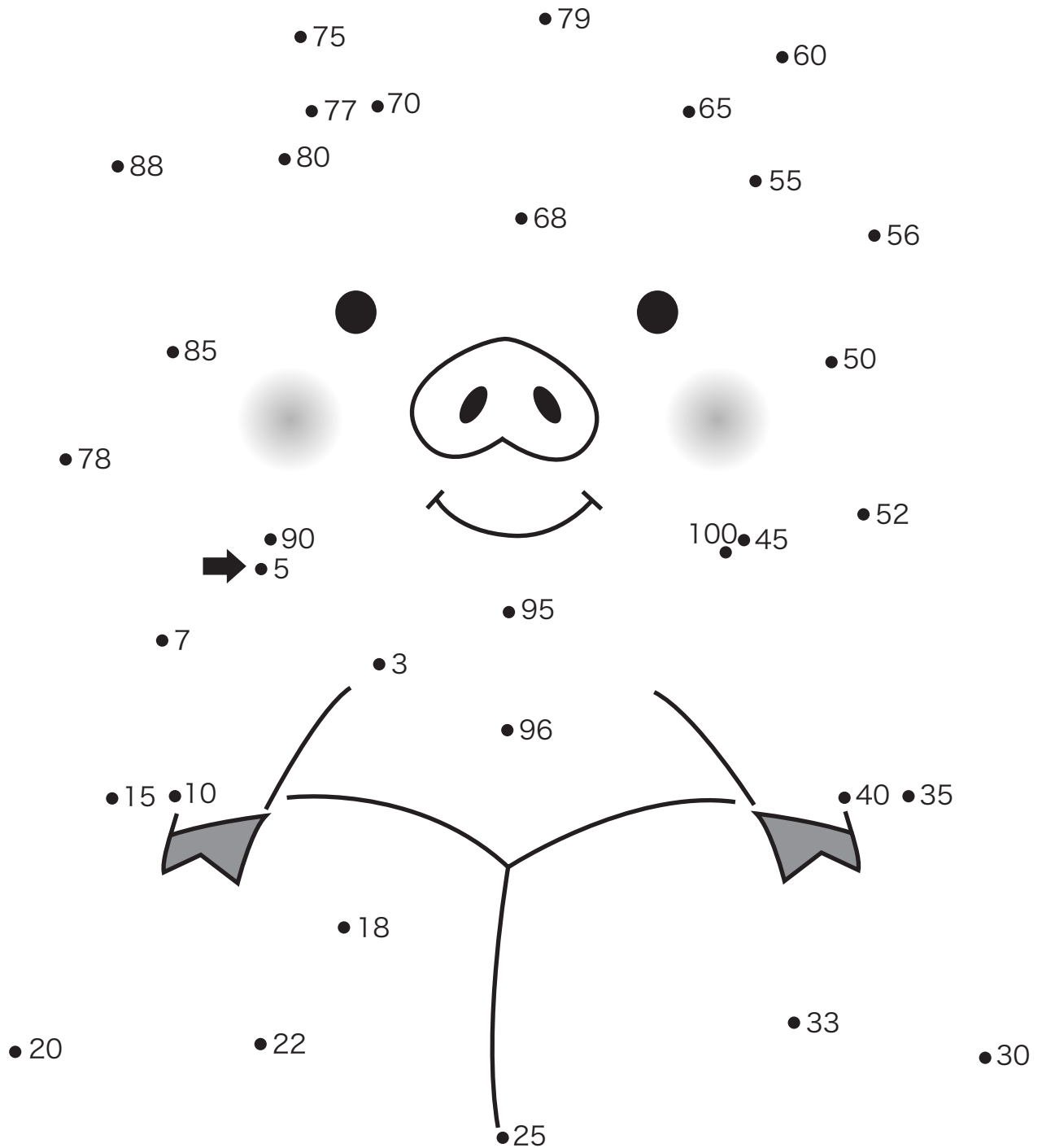
## 【4とび】



# 口コモ 3-2

なまえ

5から100まで、5とびにせんでむすびましょう。



# 口コモ 3-3

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

らいねん  
来年のこと  
を言え<sup>い</sup>ば

らく  
楽あれば<sup>く</sup>苦あり

るい  
類は

わたせけん  
渡る世間に

わらかど  
笑う門には

おに  
鬼はない



とも  
友を<sup>よ</sup>呼ぶ



おに  
鬼が<sup>わら</sup>笑う



く  
苦あれば<sup>らく</sup>楽あり



ふくきた  
福来る



# 口コモ 3-4

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

わた<sup>わ</sup>る<sup>た</sup> せ<sup>せ</sup> けん<sup>けん</sup>  
渡る世間に

おに<sup>お</sup> わら<sup>わ</sup>  
鬼が笑う



らい<sup>ら</sup> ねん<sup>ねん</sup>  
来年のこと  
を言え<sup>い</sup>ば

く<sup>く</sup> あれば<sup>あ</sup> らく<sup>らく</sup>  
苦あれば楽あり



らく<sup>ら</sup> あれば<sup>あ</sup> く<sup>く</sup>  
楽あれば苦あり

とも<sup>と</sup> をよ<sup>よ</sup>  
友を呼ぶ



わら<sup>わ</sup> かど<sup>か</sup>  
笑う門には

おに<sup>お</sup>  
鬼はない



るい<sup>る</sup>  
類は

ふく<sup>ふ</sup> きた<sup>き</sup>  
福来る



# 口コモ 3-5

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

らいねん  
来年の<sup>こと</sup>を  
い<sup>え</sup>ば<sup>おに</sup>鬼が<sup>わら</sup>笑う

きあなかまあつ  
気が合う仲間が集まるね



らく  
楽あれば<sup>く</sup>苦あり  
<sup>く</sup>苦あれば<sup>らく</sup>楽あり

わらごえしあわ  
笑い声で幸せだね



るいともよ  
類は友を呼ぶ

そんな<sup>さき</sup>先のことはわからないよ



わたせけん  
渡る世間に  
おに  
鬼はない

たの<sup>く</sup>楽しいことも<sup>くる</sup>苦しいことも  
あるんだよ



わらかど  
笑う門には  
ふくきた  
福来る

しんせつひとかなら  
親切な人も必ずいるよ



# 口コモ 3-6

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

類<sup>るい</sup>は友<sup>とも</sup>を呼<sup>よ</sup>ぶ

将来<sup>しょうらい</sup>のことは予<sup>よ</sup>測<sup>そく</sup>できない



来<sup>らい</sup>年<sup>ねん</sup>のことを  
言<sup>い</sup>えは鬼<sup>おに</sup>が笑<sup>わら</sup>う

笑<sup>わら</sup>い声<sup>こえ</sup>が満<sup>み</sup>ちている家<sup>いえ</sup>には  
自<sup>し</sup>然<sup>ぜん</sup>と幸<sup>しあわ</sup>せがや<sup>あ</sup>って<sup>く</sup>る



笑<sup>わら</sup>う門<sup>かど</sup>には  
福<sup>ふく</sup>来<sup>きた</sup>る

世<sup>よ</sup>の中<sup>なか</sup>は楽<sup>たの</sup>しいことがあ<sup>あ</sup>れば  
苦<sup>くる</sup>しいこともあ<sup>あ</sup>る



渡<sup>わた</sup>る世<sup>せ</sup>間<sup>けん</sup>に  
鬼<sup>おに</sup>はな<sup>な</sup>い

気<sup>き</sup>のあ<sup>あ</sup>った者<sup>もの</sup>や性<sup>せい</sup>質<sup>しつ</sup>の似<sup>に</sup>た  
者<sup>もの</sup>同<sup>どう</sup>士<sup>し</sup>は、自<sup>し</sup>然<sup>ぜん</sup>に集<sup>あ</sup>まる



楽<sup>らく</sup>あ<sup>あ</sup>れば苦<sup>く</sup>あ<sup>あ</sup>り  
苦<sup>く</sup>あ<sup>あ</sup>れば楽<sup>らく</sup>あ<sup>あ</sup>り

世<sup>よ</sup>の中<sup>なか</sup>には、人<sup>にん</sup>情<sup>じょう</sup>に厚<sup>あつ</sup>い人<sup>ひと</sup>  
が必<sup>かな</sup>ずあ<sup>あ</sup>る



# 口コモ 3-7

なまえ

□に すうじをかきましょう。



# 口口モ 3 - 8

なまえ

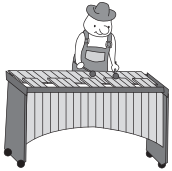
□にすうじをかきましょう。

# 口コモ 3-9

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

いかのぼり  
凧



まいとし  
毎年よ

ゆ  
揺りやみしかば  
うすみどり



ひがん  
彼岸の  
い  
入りに  
さむ  
寒いのは



しらふじ  
白藤や

きのうの空<sup>そら</sup>の  
ありどころ



口コモ 3 - 10

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

しらふじ  
白藤や

きのうの空<sup>そら</sup>の  
ありどころ



まいとし  
毎年よ

ゆ  
揺りやみしかば  
うすみどり

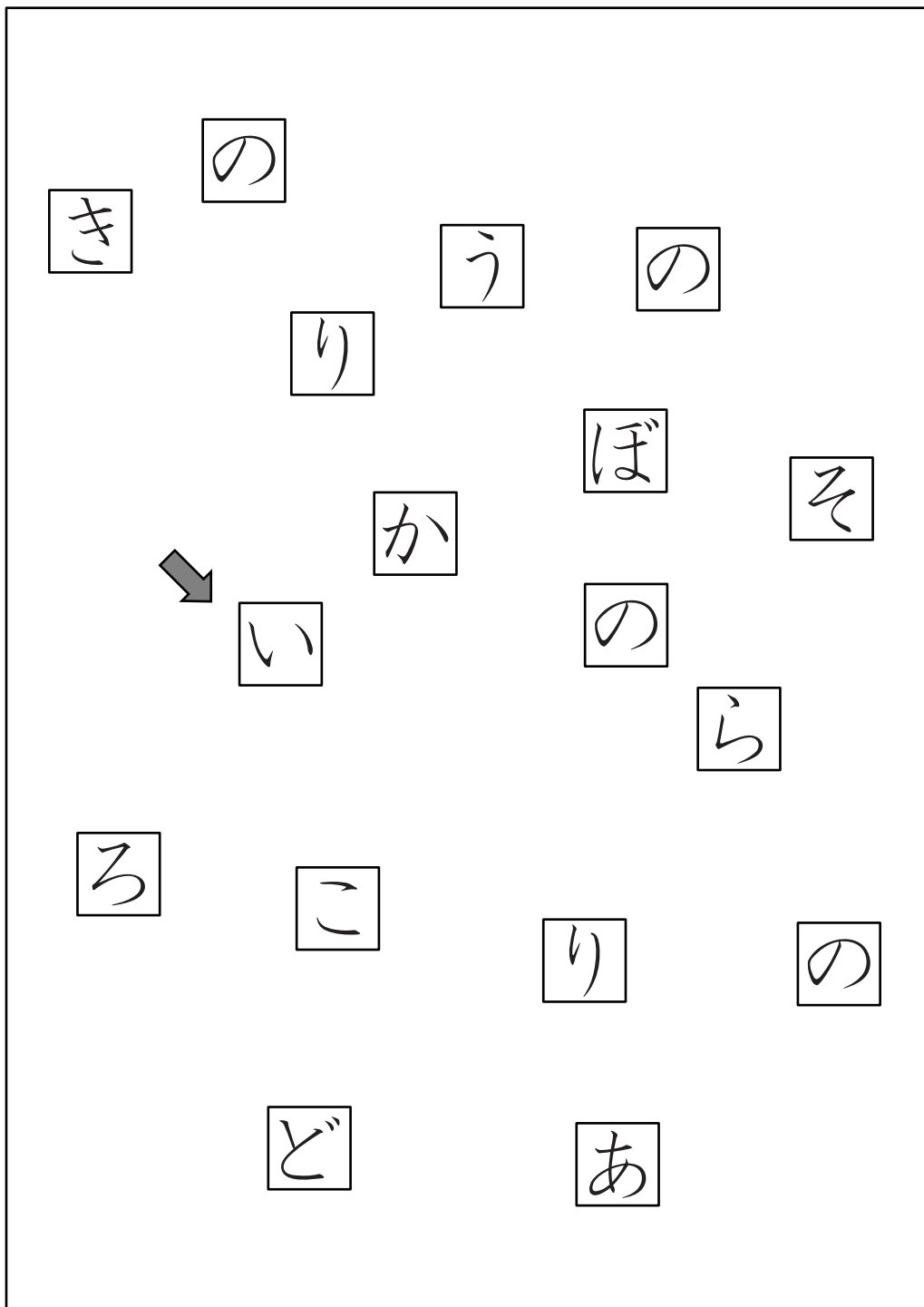


いかのぼり  
凧

ひがん  
彼岸の入り  
に  
さむ  
寒いのは



せん  
線でむすびましょう。



い  
か  
の  
ぼ  
り  
き  
の  
う  
の  
そ  
ら  
の  
.  
.  
.  
.  
.

# 口コモ 3 - 12

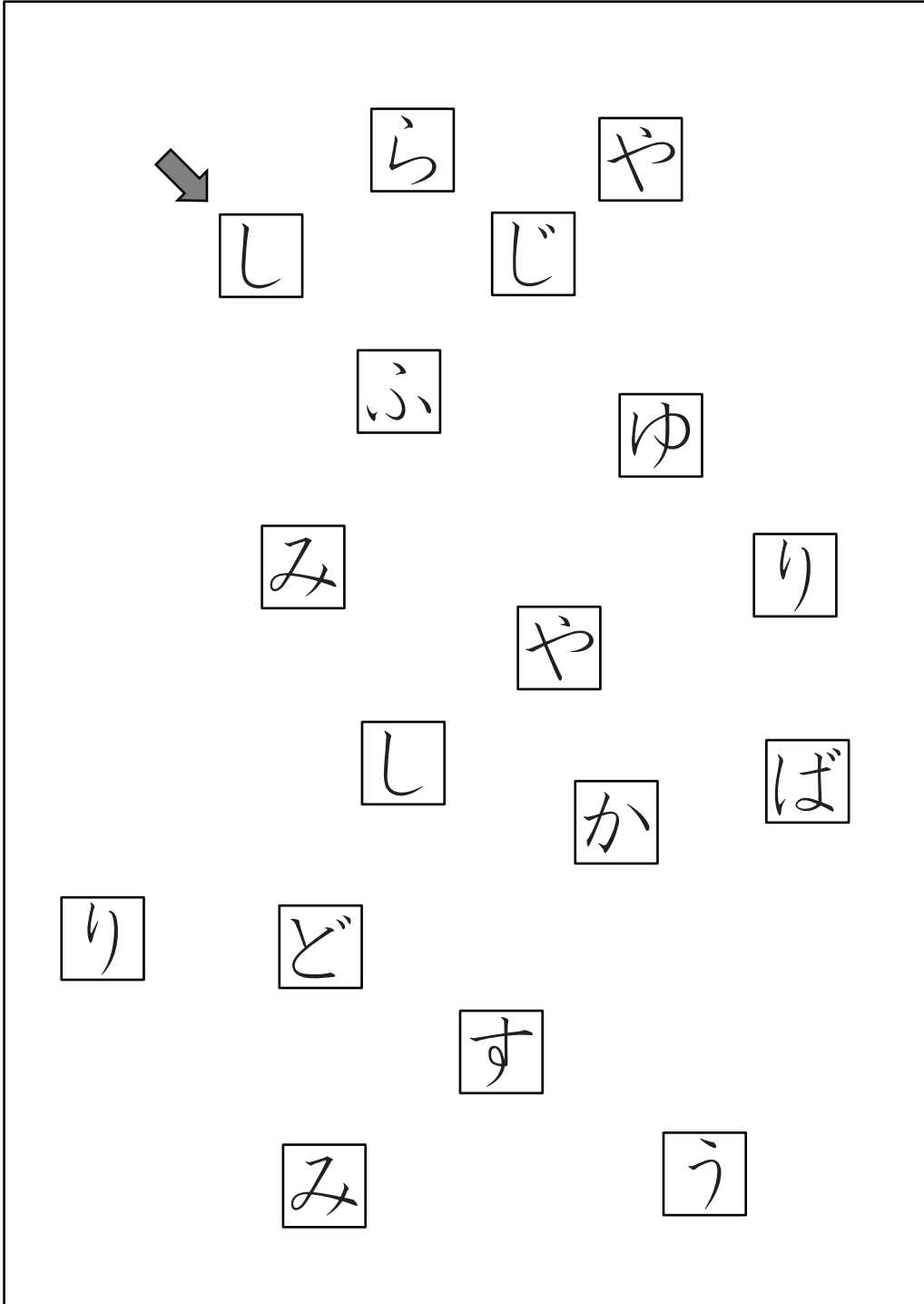
なまえ

せん  
線でむすびましょう。

が ひ  
ん ま よ  
の い し は  
い と の  
に い  
り さ む

ま  
い  
と  
し  
よ  
.  
.  
.  
.  
.

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。



し  
ら  
ふ  
じ  
や  
ゆ  
り  
ば  
か  
す  
う


口コモ 3 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			い
			□
		き	の
		の	ぼ
		う	り
		□	
	あ	そ	
	り	□	
	□	の	
	こ		
	□		

与謝蕪村よ しゃ う ら ん



口口モ 3 - 15

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

いとしよ

ひ

ん

の

り

に

む

い

の

まさおかしき  
正岡子規



口コモ 3 - 16

なまえ

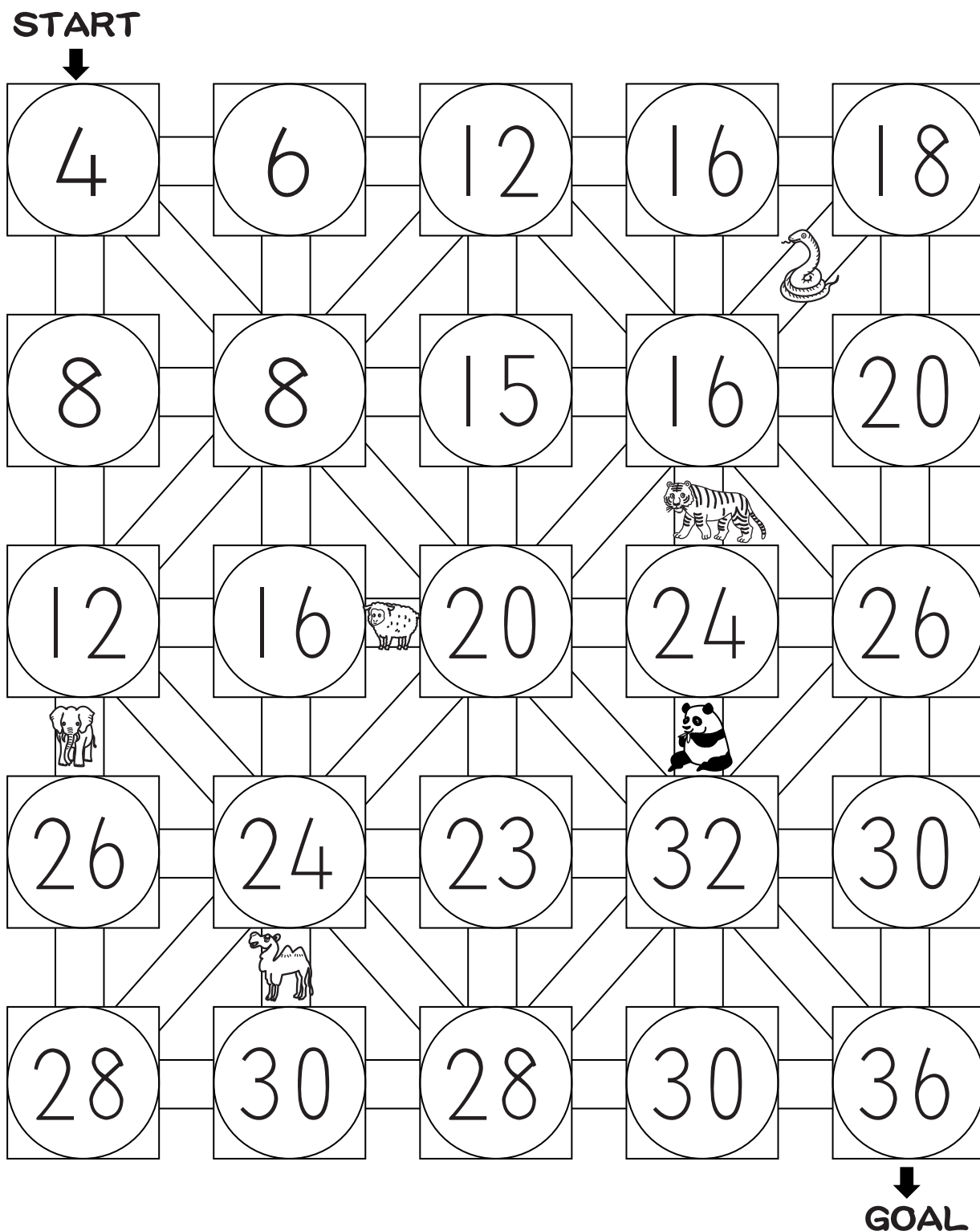
□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			し
		ゆ	□
		□	ふ
		や	じ
	□	□	や
	す	し	
	み	か	
	ど	□	
	り		
芝 <small>しば</small>			
不 <small>ふ</small>			
器 <small>き</small>			
男 <small>お</small>			

# 口コモ 3 - 17

なまえ

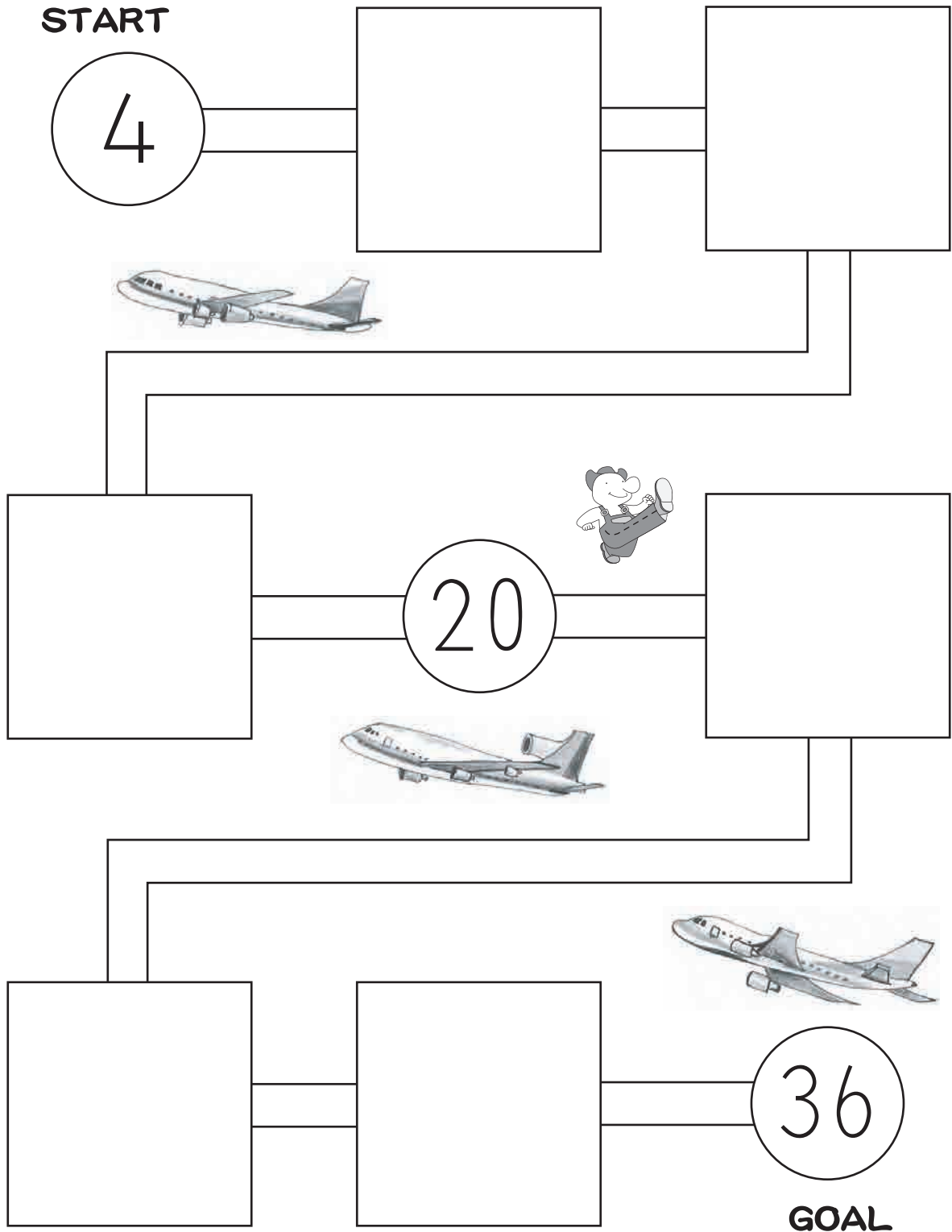
4とびで、GOAL までいきましょう。



# 口口モ 3 - 18

なまえ

あいている□の中なかに4とびで数字すうじをかきましょう。



# 口コモ 3 - 19

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

かた  
肩

であしらう



はな  
鼻

なら  
を並べる



ひざ

まじ  
を交える



# 口コモ 3 - 20

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

かた なら  
肩を並べる

ちか した はな  
近くで親しく話そう



はな  
鼻であしらう

き  
聞くつもりはありません



まじ  
ひざを交える

おな ちから も  
同じ力を持っているよ



# 口コモ 3 - 21

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

まじ  
ひざを交える

あいて  
相手をばかにして、  
いいかげんに<sup>たいおう</sup>対応する



かた なら  
肩を並べる

たが  
互いに<sup>ちかよ</sup>近寄り、うちと  
けて<sup>はなあ</sup>話し合う



はな  
鼻であしらう

どうどう  
同等の<sup>ちい</sup>地位や<sup>ちから</sup>力で<sup>は</sup>張り  
あ<sup>あ</sup>合う



下から選んで慣用句をつくりましょう。

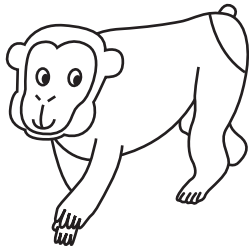
を<sup>なら</sup>並べる

であしらう

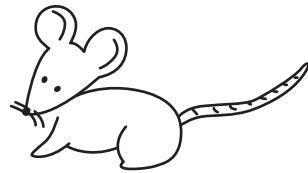
を<sup>まじ</sup>交える

ひざ はな かた 

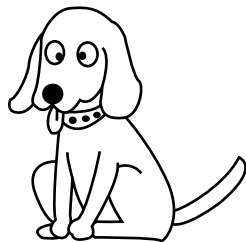
ハーメルンの<sup>まち</sup>町で、<sup>ふ</sup>増えて<sup>こま</sup>困った<sup>どうぶつ</sup>動物は何で  
したか。



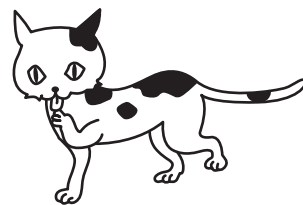
サル



ネズミ



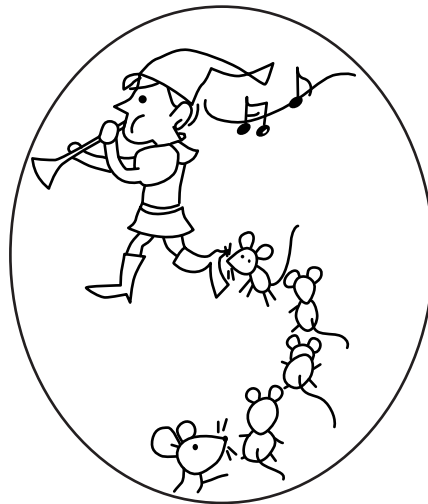
イヌ



ネコ



ちょうちょう 町長さんがやくそくを守らなかったので、男は  
どうしましたか。



- 1 ふえを吹きながら、ネズミを町につれてもどってきた。
- 2 ふえを吹きながら、町の子どもたちをつれてどこかへ行ってしまった。
- 3 ふえを吹いて、お金をもらおうと思った。

口コモ 3 - 25

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ちぎ  
契りおきし  
させもが露<sup>つゆ</sup>を命<sup>いのち</sup>にて



まつ むかし  
松も昔の  
友<sup>とも</sup>ならなくに



これやこの  
行くも帰<sup>かえ</sup>るも別<sup>わか</sup>れては



わ ことし  
あはれ今年の  
秋<sup>あき</sup>もいぬめり



よ  
夜をこめて  
鳥<sup>とり</sup>の空<sup>そら</sup>音<sup>ね</sup>ははかるとも



おうさか  
よに逢坂の  
関<sup>せき</sup>は許<sup>ゆる</sup>さじ



たれ  
誰をかも  
知る人<sup>しひと</sup>にせむ高砂<sup>ん たかさご</sup>の



し し  
知るも知らぬも  
あふ坂<sup>おうさか</sup>の関<sup>せき</sup>



口コモ 3 - 26

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ちぎ  
契りおきし  
させもが露<sup>つゆ</sup>を命<sup>いのち</sup>にて

まつ むかし  
松も昔の  
友<sup>とも</sup>ならなくに

よ  
夜をこめて  
鳥<sup>とり</sup>の空<sup>そら</sup>音<sup>ね</sup>は はかるとも

わ ことし  
あはれ今年の  
秋<sup>あき</sup>もいぬめり

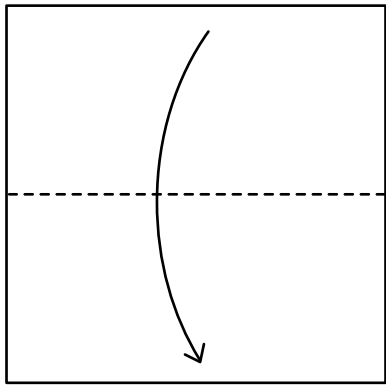
たれ  
誰をかも  
知る人<sup>し ひと</sup>にせむ 高砂<sup>ん たかさご</sup>の

し し  
知るも知らぬも  
あふ坂<sup>お う さか</sup>の関<sup>せき</sup>

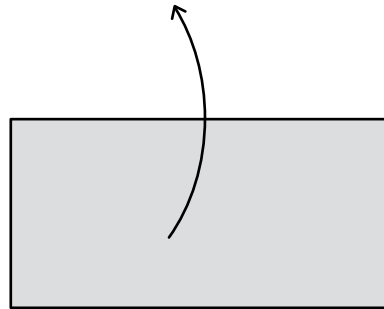
これやこの  
行くも帰<sup>かえ</sup>るも 別<sup>わか</sup>れては

おうさか  
よに逢坂<sup>お う さか</sup>の  
関<sup>せき</sup>は許<sup>ゆる</sup>さじ

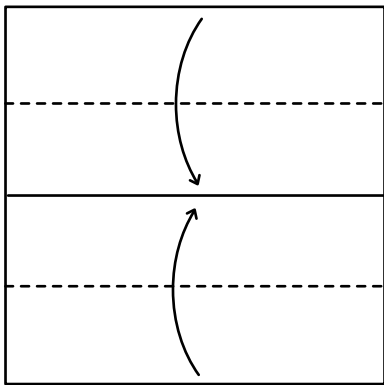
《ふね》



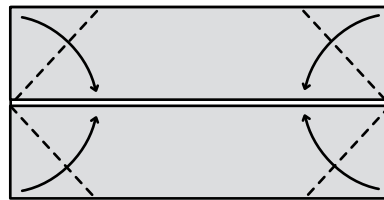
1 はんぶん に たにおりする



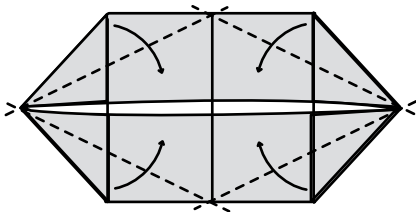
2 もとに もどす



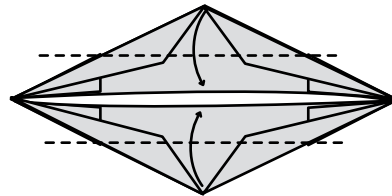
3 まんなかの おりせんに  
あわせて たにおりする



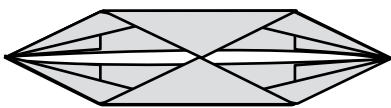
4 まんなかの おりせんに  
あわせて たにおりする



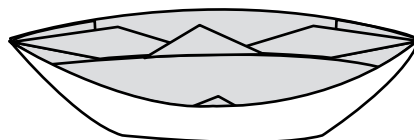
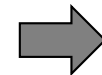
5 かどを さらに たにおりする



6 じょうげを まんなかの  
せんの ところまで おる



7 まんなかの ところから  
おもてと うらを ひっくりかえす



ふねの かんせい